　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　西暦202x年xx月xx日

株式会社　電磁環境試験所認定センター殿

**VLAC認定審査費用見積申請書**

**1.申請者/法人名**

　連絡担当者　所属：　　　　　　　 氏名：　　　　　　　　 TEL:　　　　　e-mail：

**2.申請の種類：**（※認定更新申請時に認定範囲拡大を含む場合は、両方に×を記入してください。）

**新規認定(Ｎ)　 認定更新(Ｒ)　　認定範囲拡大(Ｅ)　 認定範囲変更(Ｍ)**

**サーベイランス(S)(技術的同等規格(IDT)を追加(Ｍ))** ※Ｓのみの場合は（ ）内の☒は記入しない。）

**3.ＶＬＡＣ認定番号**(既認定試験所のみ)**：　ＶＬＡＣ-**

**4.申請試験場**（試験場が複数の場合は試験場毎に記入して下さい。近接試験場を申請する場合はまとめて記入する。）

　試験場名称

（主試験場　/従試験場　試験場が複数の場合のみ　どちらかに×をご記入下さい。）

　住所　〒

　最寄り駅　　　　　　　　　　　　　　　　　最寄り駅からの交通手段　（タクシーの場合は所要時間もご記入下さい）

　　　　　　線　　　　　駅　　交通手段：

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **5.申請試験区分** （申請予定の試験区分(主・副)に☒を記入してください。尚、「7.申請試験規格②」はVLACにて☒を記入します。）  　（申請する試験規格が属する試験区分が不明の場合は、VLACへ事前にお問合せ下さい。）  エミッション ： 放射妨害波（基準大地面の1GHz超試験を含む） 伝導妨害波  イミュニティ ： 静電気　　　 放射電磁界 電気的過渡バースト サージ  無線周波伝導妨害波 放射磁界 電源電圧変動  1GHz超放射妨害波エミッション(準自由空間による1GHz超の試験）  電力送電機器イミュニティ  電源高調波 ： 高調波電流　 電源電圧動揺  音響(空気伝搬騒音)  通信機器性能１ ： FCC カナダ 欧州　　電波法 その他（　　　　　　）  通信機器性能２ ： 電磁界ばく露(局所比吸収率)、 電磁界ばく露(磁界強度／他)  通信機器性能３ ： 公衆回線接続通信端末機器  製品安全 ： 家電製品 マルチメディア 医用電気機器 　 制御機器・計測機器  環境（消費電力） : 国際ｴﾈﾙｷﾞｰｽﾀｰﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ 米国ｴﾈﾙｷﾞｰｽﾀｰﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　　消費電力  環境（環境試験）, 同左(加) : 船級試験  自動車・車載機器, 同左(加)：ESA(車載部品)ｴﾐｯｼｮﾝ　 ESA(車載部品)ｲﾐｭﾆﾃｨ　 自動車ｴﾐｯｼｮﾝ　 自動車ｲﾐｭﾆﾃｨ  防衛・宇宙・航空 ： 防衛･宇宙･航空エミッション 防衛･宇宙･航空イミュニティ  現場試験（In-Situ） ： エミッション イミュニティ　　　(注)現場試験の初回審査は「認定範囲拡大」で申請する。  FCCチェクリスト（有効期限延長）  ↑ <注>申請する試験規格が該当する試験区分(主)は必ず☒を記入して下さい。尚、試験規格の版数UPは拡大(Ｅ)で申請して下さい。 | | | | | | | |
| **6.英文認定証**：　要　　不要 | | | | | | | |
| **7.申請試験規格：**（①認定範囲拡大(試験規格の追加)の場合に記入。②当該規格が属する試験区分が不明の場合も記入。） | | | | | | | |
| **VLAC記入欄** | | | | | | | |
| 審査種別： R  S  E  M　　現地有り( C-1 / C-2 / C-3 )　審査員数（　　人）　現地審査日数（　　日）　　　現地無し  交通費 | | | | | | | |
| 受付日 | 見積書番号 | 管理費区分 | 基本  単位 | 追加  単位 | S追加  口数 | 認定業務部長 | 備考（＋現場試験の審査日数等） |
| 2025/　/ | 2025xxxx-x | １ ２ ３ ４ |  |  |  |  |  |

サーベイランス審査費用は2024/4以降はＳ追加口数を加算対象とします。Ｓ追加口数はVLACが現認定証を元に記入します。

　5項内の □同左(加) は現地審査が＋1日を要す場合に、VLAC事務局が記入します。